

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873400273
法人名	有限会社エル・シー・エヌ
事業所名	グループホーム久万いこいの郷
所在地	愛媛県久万高原町入野1726番地5
自己評価作成日	平成21年8月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然の中で生活し、季節を体で感じていただき、楽しくのんびりと生活できるように心がけています。地域柄家族との距離が離れているので、病院受診、検診は施設にて100%対応しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営者は、自然な光をホーム内に取り入れるために天窓を増設したり、居室内に手すりや額縁等穴が開いてしまうようなものでも、利用者のためになることは全て許可をするなど、利用者本位で運営を行っている。最近飼い始めた小型犬が利用者にとても好評で、利用者同士や、散歩時の近所の方とのコミュニケーションに役買っている。利用者に対する管理者や職員の対応は穏やかで、行事や献立等についても利用者を中心に考えられている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

—サービス向上への3ステップ—

事業所名	グループホーム久万いこいの郷
(ユニット名)	ぐり
記入者(管理者)	
氏名	丸山昭仁
評価完了日	年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念の作成をし、日々の関わりについて実践を心がけている。	
			(外部評価) 開設当初から掲げている理念を職員全員が共有し、地域とのふれあいを大切にしながら常に利用者のペースでじっくりと理念の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の住民より畑を借り農作業を行うなど、また季節行事用の（例えば七夕用の笹飾りに使う竹を分けてもらう等）物品を調達する際の便宜を図って頂いている。	
			(外部評価) 地域の一員として清掃活動等の行事に積極的に参加している。また、ホームで飼っている犬などを話題に近所の方との自然な会話もあり、良好な関係が築かれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 現在のところ、運営推進会議において地域の民生委員等に対して介護及び医療面に関する情報提供を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 昨年度に指摘のあった、地域住民との防災訓練を話し合い実施をしている。	
			(外部評価) 地区担当民生委員や家族、行政職員も参加して活発に意見が出されていることが記録からうかがえる。また、その意見等を無駄にすることなく職員にも伝え、ケアに活かしていくよう話し合われている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 介護相談員の受け入れを月2回行っており、文書にて指摘を頂き、改善に取り組んだり、日々疑問点がある場合は行政に確認をしている。	
			(外部評価) 運営推進会議で行政説明をしてもらったり、必要な書類や資料を提供してもらっている。また、困ったことも気軽に相談にのってもらえる良好な関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中については玄関を開放し、屋外に出て行く場合にも付き添いながら対処をしているなど、取り組んでいる。	
			(外部評価) 管理者、職員とも身体拘束をしないケアの重要性を認識しており、特に安定剤を服用している利用者については詳細な記録を取り、医師と常に相談しながら薬での拘束につながらないよう慎重にケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 地域ケア会議においても、虐待に対する研修を行い、虐待防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 入居者の状況を見ながら行政との話し合いをもち、各制度の利用に繋げるように努めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 主に入居時に契約をし、わかりやすい説明に心がけ、内容の難しい部分には、補足説明を加えながら行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会をクリスマス時に設けて家族の意見を聴いたり、運営推進会議でご家族の意見を聴きそれらをミーティングにて反映させている。 (外部評価) 職員の顔と名前が一致しないという家族から出された意見を受けて、近況報告と共に送付している機関誌に職員紹介のコーナーを設けるなど、出された意見をすぐに実行するよう心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の全体会議及び各ユニットごとに月1回の会議を行い、職員の意見を聴く場を設けている。 (外部評価) ミーティングでは職員からの意見も活発に出され、実際に運営が改善されたケースもある。法人代表との個人面談もあり、運営者側も職員の意見をとても大切にしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 勤務体系の柔軟化を鑑み、希望休を予め聴いて勤務表の作成を行っている。また、研修費用の事業所負担なども実施できるように体制を整え、研修の奨励をしている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 特に新人に対する研修を外部研修にて奨励し、研修プログラムの掲示をしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議などの関係機関との交流は行っているが、グループホーム同士の交流が時間調整が持たず実施に向けて検討をしている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) アセスメント形式にセンター方式を使用し、できる限り細部の聞き取りを行い日々の対応に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前より連絡を密に取りながら、入居受け入れ及び日々の生活がスムーズに行えるように努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 不安要因や必要な事柄については、入居前よりご家族、ご本人及び関係機関と連絡を取りながら行っている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ご本人が出来ることを見極め、日々の生活に張り合いが持てるようにしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会の機会を多く持てるように促すと共に、日々の生活状況、往診などによる身体状況の説明などを、文書及び電話等により連絡している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 以前に通っていたデイサービス事業所への訪問をし、関係が途切れないようにしている。 (外部評価) 地元出身の利用者には、馴染みのお店に行ったり、以前利用していた事業所を訪問したり、見慣れた風景をドライブ途中で眺めるなど、関係が途切れない工夫をしている。また、他の地域出身の利用者には新しい馴染みの関係をつくり、交流できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 個々の状態、関係性を把握し席順や行事への参加時の配慮を行っている。また、お体の弱い方への配慮を他の入居者の方が補うような取り組み（食器の片付けなど）を行っている。	
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 長期入院により退居になるような場合でも、退院後の受け入れや他施設への入所の便宜を行っている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 3ヶ月1回のペースでアセスメントを行い、本人の希望、意向の把握に努めている。 (外部評価) 管理者がよく利用者に接しており、買い物やごみ捨ての時等のなげない会話の中でも思いを聞き取るなど、日ごろから話しやすい雰囲気づくりに職員とともに努めている。また、町の介護相談員が一人ひとりの利用者の思いを聞いてくれるので、職員には言いにくいことも聞き取ることができている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 上記同様、なじみの品物や生活し易い環境に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日差変動のある方についても、引継ぎや申し送りノートなどを使い把握、対応している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価) 医療面については、主治医を中心に相談をし、また外 部からは介護相談員の方とも話し合いを持ちながら改 善をしている。	
			(外部評価) カンファレンスを各ユニットごとに行い、状態が変 わった利用者については、主治医等の関係者の意見を 聞きながら随時計画を変更している。また、利用者や 家族の意見も反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) ケース記録により日々の状態を記録し、気づいた点に ついては、日々対応をしている。また、ケアカンファ レンスにも反映している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	(自己評価) リハビリが必要な方には病院への送迎を行い、また、 訪問診マッサージなどもご家族と協議しながら実施し ていた。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) 地域の図書館を利用したり、役場へ入居者と同行し地 域の歌（久万山音頭など）のカセットテープ頂いたり した。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご本人及びご家族の希望を聴きながら、主治医の選定 をし、必要があれば、専門医に診ていただくよう配慮 している。	
			(外部評価) 利用者や家族の意向に添い、受診したい病院を選定し ている。専門医の受診が必要な場合は都市部まで行く こともある。また、月に1回訪問診療をしている協力 医療機関からの往診もある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 医療連携体制により看護師を配置し、健康チェック及 び電話などにより連絡を取りながら、適切な医療を受 けられるようにしている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 主治医以外の病院受診時や入退院時には、紹介状など の医療情報の提供や、医師との面談をし情報交換に努 めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 状態の説明は面会時や電話などでご家族と話し合いを 持ちながら、適切な対応が出来るようにしている。ま た、地域の関係者とも協力している。	
			(外部評価) 利用者にとって最良な方針を家族ともよく話し合っ て決めており、地域の医療等の関係者との連携も取れ ている。終末期に向けたケアを実践するためのホーム内 の体制の強化や関係機関との連携は、まだ十分とまで は言えない。	利用者の状態や家族の気持ち、それを直接受け止める 職員のメンタルケア等を考慮した、包括的なマニュアル を作成し、利用者や家族が安心して終末期を迎える ことができるような取り組みを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) AED講習を受けれるように年1回防火訓練時に計画している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域との防災訓練を今年の7月に行い、施設の建物、入居者の状態を把握して頂き、災害時への対応を取り組んでいる。 (外部評価) 年に2回、消防署と地域の方に協力してもらっての避難訓練やAEDの講習なども精力的に行っている。	あらゆるタイプの災害を想定した避難訓練を今後も行うとともに、地域の方に協力してもらうだけではなく、地域の一員としてホームができることをアピールする等、双方向の協力体制を築くことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) プライバシーに関することは、個室にて対応したり、尊厳を傷つけないような配慮をしている。 (外部評価) 個人情報に関わることは居室や相談室を利用して話すなど、特に配慮している。また、利用者のプライドを傷つけないように声かけの仕方や接し方に気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 入居者により個人差はあるが、希望は出来るだけ応えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 朝起きるのが遅い方には、遅いなりの対応をしご本人のペースを出来る限り尊重するよう心がけている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 化粧品を買いたい方は買物へ一緒に行き、衣類も好みのものを着れるようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の下ごしらえ、片付けを入居者の方にもお願いし、職員も一緒に食事をしている。 (外部評価) 下ごしらえや盛付け、後片付け等、できることをしてもらっており、利用者に対して職員は必ずお礼を言うなど、基本的な姿勢も徹底している。 食事の時は、テレビをつけたり音楽を流したり、時には何も付けないなど利用者の希望に合わせて対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 飲み物の好みを個々に把握し、必要なときには変更して対応している。1日の水分量は記録に残し、十分な量が摂れるようにしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアについては個々で行っているが、ご自分で出来ない方については、介助している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) なるべく、トイレでの排泄に心がけ、ポータブルトイレの使用については、夜間時などに限るように対応している。	
			(外部評価) 利用者個人の排泄パターンを記録して把握に努め、トイレ誘導を行っている。夜間は睡眠との兼ね合いも考慮しながら、紙パンツやポータブルトイレ、尿器など個人に合った方法で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 運動や飲み物（牛乳、冷水）など、なるべく薬に頼らないようにしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 夜間浴を中心に対応しており、中々ご希望に添えていない部分もあるが、必要時には入浴が出来るような体制をとるようにしている。	
			(外部評価) 利用者の希望により夜間の入浴にも対応するなど、利用者の希望を最優先にしながら、生活リズムやその時の体調をしっかり把握し、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々のペースや室温をみながら、安眠できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬の特徴については、口頭また文書に周知し、副作用や食べ合わせの悪い食品などの理解に努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 趣味や散歩、季節行事を織り交ぜながら日々の生活にストレス感じないように工夫をしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買物については希望に応じて行っている。また、時間があれば喫茶店などに行ったりしている。敬老会には地域の会に呼ばれて外出している。玄関はいつでも外出できるように開放しており、入居者の意思で外出した場合は職員がサポートできるようにしている。	
			(外部評価) 近くのスーパー等に買い物に出かけたり、利用者の希望を取り入れてドライブや喫茶店に行くなどしている。中庭には広いウッドデッキがあるため気軽に外気浴ができ、またちょっとした散歩を職員がサポートするなど、日常的な外出支援に配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) おこずかいを預かっており、買物にはご本人の管理能力に応じて支払いをしてもらっている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 季節のはがきなどは書いていただくようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を飾ったり、トイレなどは絵や文字にて混乱の無いように表示している。	
			(外部評価) 雪が必ず積もる寒い地域であるため、床暖房や断熱効果の高いガラス窓にしたり、廊下に自然な明かりと温もりを取り入れることができるよう天窓を増設するなど、快適に過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ウッドデッキに長いすを設置したり、たたみコーナー、ソファを設けている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所時に積極的に愛用していた家具や、装飾品などを持ってきていただき、壁に穴を開けていただいても構わない事も本人ご家族に説明し、本人が作り上げられるように心がけている。	
			(外部評価) 自宅で使用していたダンスや装飾品等を自由に持ち込んで壁等に穴を開けて設置しても構わないことを利用者や家族に伝えており、居心地のよい居室を利用者と一緒に作り上げている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 身体状況に合わせて個別の対応をしている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873400273
法人名	有限会社エル・シー・エヌ
事業所名	グループホーム久万いこいの郷
所在地	愛媛県久万高原町入野1726番地5
自己評価作成日	平成21年8月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然の中で生活し、季節を体で感じていただき、楽しくのんびりと生活できるように心がけています。地域柄家族との距離が離れているので、病院受診、検診は施設にて100%対応しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営者は、自然な光をホーム内に取り入れるために天窓を増設したり、居室内に手すりや額縁等穴が開いてしまうようなものでも、利用者のためになることは全て許可をするなど、利用者本位で運営を行っている。最近飼い始めた小型犬が利用者にとっても好評で、利用者同士や、散歩時の近所の方とのコミュニケーションに役買っている。利用者に対する管理者や職員の対応は穏やかで、行事や献立等についても利用者を中心に考えられている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グループホーム 久万いこいの郷
(ユニット名)	ぐら
記入者(管理者)	
氏名	丸山昭仁・西岡祥太(ユニットリーダー)
評価完了日	年 月 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「いこい」の文字にならなくてもあなたからでもわかる内容に上げている。	
			(外部評価) 開設当初から掲げている理念を職員全員が共有し、地域とのふれあいを大切にしながら常に利用者のペースでじっくりと理念の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 組みの寄り合い・地方祭等に参加して、地域交流に努めている。	
			(外部評価) 地域の一員として清掃活動等の行事に積極的に参加している。また、ホームで飼っている犬などを話題に近所の方との自然な会話もあり、良好な関係が築かれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 定期的に(2ヶ月に一回程度)運営推進会議を開催、自治会長・民生委員の方々に参加を求めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホーム等の現状を毎回報告、皆様から意見を頂いている。	
			(外部評価) 地区担当民生委員や家族、行政職員も参加して活発に意見が出されていることが記録からうかがえる。また、その意見等を無駄にすることなく職員にも伝え、ケアに活かしていくよう話し合われている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 地域柄町の福祉担当者とは、密に連絡は取れており相談に乗っていただいております。	
			(外部評価) 運営推進会議で行政説明をしてもらったり、必要な書類や資料を提供してもらっている。また、困ったことも気軽に相談にのってもらえる良好な関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 各会議等、日頃より身体拘束の学習を行い個人にて意識した介護をおこなっている。また、薬物拘束についても行わないようにDrとの相談も密に行っている。	
			(外部評価) 管理者、職員とも身体拘束をしないケアの重要性を認識しており、特に安定剤を服用している利用者については詳細な記録を取り、医師と常に相談しながら薬での拘束につながらないよう慎重にケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待が無いように、毎回のミーティングにて話し合いの場を設けています。運営理念にそっての介護を目指しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、成年後見制度を利用中の方が1名おられます。制度の利用にあたり、会議等にて職員一同で協議しました。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書一つひとつの項目に対して、わかりやすい説明を行い、契約時には、多くの時間を設けます。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族からの苦情や不満には随時受けており、ご意見等はミーティング等の題材にして意見を反映しています。 (外部評価) 職員の顔と名前が一致しないという家族から出された意見を受けて、近況報告と共に送付している機関誌に職員紹介のコーナーを設けるなど、出された意見をすぐに実行するよう心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回のミーティングにて職員との意見交換を行っている。 (外部評価) ミーティングでは職員からの意見も活発に出され、実際に運営が改善されたケースもある。法人代表との個人面談もあり、運営者側も職員の意見をととても大切にしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員のストレスたまらないように、本社の相談係と連携した場を設けています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員のスキルアップとして、個々の能力に応じて研修を行っています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議や意見交換会等には積極的に参加を行っています。GHの運営者の集まりに参加し、合同で研修、外出行事等を進めている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査にて本人の気持ち思いを理解するために、多くの時間をかけて話をしている。ここの状況に合わせケアマネ等が相談に応じる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 多くの時間をかけ家族との相談の時間を設けている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前調査後に職員と話し合いを行い、個人の状況に応じた援助について協議の場を設ける。入所後は、その都度協議を開催し必要援助について協議する。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入所者との環境作りとして、植物を育てたり、飲酒や喫茶等同じような目線であるようにしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 個々の状態に応じ、家族への電話、相談の場を設けている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人や家族との面会、文通等を歓迎し支援しています。 (外部評価) 地元出身の利用者には、馴染みのお店に行ったり、以前利用していた事業所を訪問したり、見慣れた風景をドライブ途中で眺めるなど、関係が途切れない工夫をしている。また、他の地域出身の利用者には新しい馴染みの関係をつくり、交流できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入所者同士が良好な関係が築けるよう、職員が場作りを支援しています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後の行事参加の関わりが少ないので、行事参加を積極的に努めていきたい。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の立場に立ち、相談に乗り思いを把握に努力しています。その為に、気軽に相談しやすいばを提供しています。 (外部評価) 管理者がよく利用者に接しており、買い物やごみ捨ての時等のなげない会話の中でも思いを聞き取るなど、日ごろから話しやすい雰囲気づくりに職員とともに努めている。また、町の介護相談員が一人ひとりの利用者の思いを聞いてくれるので、職員には言いにくいことも聞き取ることができている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査にて、本人やご家族から詳しく話等を多く聞くようにしています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 全員が把握できるように、アセスメントシートにて記録して把握しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 個人、家族の意見を参考にしてカンファレンスにて協議している。	
			(外部評価) カンファレンスを各ユニットごとに行い、状態が変わった利用者については、主治医等の関係者の意見を聞きながら随時計画を変更している。また、利用者や家族の意見も反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 誰もが閲覧できるように、個々の記録を記録している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個々の要望に応じ、職員の話し合いの場を設け、本人のニーズに添えるよう協議する。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) ボランティアや民生委員が訪問し他機関が協力できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 家族、本人と相談し、入所までにかかりつけ医を決め ています。 (外部評価) 利用者や家族の意向に添い、受診したい病院を選定し ている。専門医の受診が必要な場合は都市部まで行く こともある。また、月に1回訪問診療をしている協力 医療機関からの往診もある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 週一回程度にて、看護師が訪問し健康管理、職員の質 問・相談に応じています。時間外の相談にも応じてい ます。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 医師との話し合いの場を設け、こまめな情報の交換や 相談を行っています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 個人に応じ、その都度に家族・主治医との話し合いの 場を設けています。 (外部評価) 利用者にとって最良な方針を家族ともよく話し合って 決めており、地域の医療等の関係者との連携も取れて いる。終末期に向けたケアを実践するためのホーム内 の体制の強化や関係機関との連携は、まだ十分とま では言えない。	利用者の状態や家族の気持ち、それを直接受け止める 職員のメンタルケア等を考慮した、包括的なマニュアル を作成し、利用者や家族が安心して終末期を迎える ことができるような取り組みを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルを作成し、定期の会議にて研修を行っています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に二回、消防署の方にきていただき、その場の状況にあわせた避難訓練をおこなっています。 (外部評価) 年に2回、消防署と地域の方に協力してもらっての避難訓練やAEDの講習なども精力的に行っている。	あらゆるタイプの災害を想定した避難訓練を今後も行うとともに、地域の方に協力してもらうだけではなく、地域の一員としてホームができることをアピールする等、双方向の協力体制を築くことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日常より、個人のプライバシーの保護に努めています。個人的なお話は居室にて対応しています。 (外部評価) 個人情報に関わることは居室や相談室を利用して話すなど、特に配慮している。また、利用者のプライドを傷つけないように声かけの仕方や接し方に気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 入居者と相談しながら援助を行っています。状況に合わせて自己決定が出来るような声掛けを行っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の状況に合わせ、支援を行っています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 外出行事にて、自分の気に入った洋服等を購入する場を設けています。2～3ヶ月に一度くらいで、理髪師に訪問してもらい散髪をしてもらっています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一連の準備から片付けまで、入居者と一緒に行っています。	
			(外部評価) 下ごしらえや盛付け、後片付け等、できることをしてもらっており、利用者に対して職員は必ずお礼を言うなど、基本的な姿勢も徹底している。 食事の時は、テレビをつけたり音楽を流したり、時には何も付けないなど利用者の希望に合わせて対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人の栄養状態を把握し、個々に応じ支援を行っています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個人に合わせ、口腔ケアの実施、場合により歯科への受診を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個人の排泄のリズムを理解し、本人にストレスが感じられないような声掛け・援助等を行っています。	
			(外部評価) 利用者個人の排泄パターンを記録して把握に努め、トイレ誘導を行っている。夜間は睡眠との兼ね合いも考慮しながら、紙パンツやポータブルトイレ、尿器など個人に合った方法で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 運動、水分の摂取量等を確認、理解し便秘しないよう支援する。3日目により投薬により排便を促す。状況に応じ、腹部マッサージを行う。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 自宅では夜間に入浴されていた方が多く、夜間の入浴支援を行っています。	
			(外部評価) 利用者の希望により夜間の入浴にも対応するなど、利用者の希望を最優先にしながら、生活リズムやその時の体調をしっかり把握し、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 基本消灯時間は21時ではあるが、個人に合わせて就寝時間にはある程度、自由である。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員の中からひとり投薬係を決めて投薬について理解している。投薬の際には、誤投与予防のため二人の職員が確認する体制をとっている。定期会議にて、投薬についての話し合いの場を設け職員全体で投薬について理解するように努力しています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の状況・能力に合わせ役割・仕事を持っている。映画鑑賞等施設での娯楽を充実できるようにしています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日には、施設外に散歩に出かけ気分転換を行っています。場合により、外出が難しい方もおられますが、その方にも楽しんでもらえるよう、近場等での買物等の支援を行っています。	
			(外部評価) 近くのスーパー等買い物に出かけたり、利用者の希望を取り入れてドライブや喫茶店に行くなどしている。中庭には広いウッドデッキがあるため気軽に外気浴ができ、またちょっとした散歩を職員がサポートするなど、日常的な外出支援に配慮している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の要望、状況に応じ、小額程度の金銭を管理していただいています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族・知人・旧友への電話等は個人の居室より電話を行っています。状況に応じ手紙などを出しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせた調度品や張り紙等を掲示して過ごしやすい環境を提供しています。	
			(外部評価) 雪が必ず積もる寒い地域であるため、床暖房や断熱効果の高いガラス窓にしたり、廊下に自然な明かりと温もりを取り入れることができるよう天窓を増設するなど、快適に過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや和室等を配置し、誰もが自由に和みやすい雰囲気を作っています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自宅にいるように、個人で自由にレイアウトしている。個人のプライバシーに配慮して個々に職員がその都度声掛けを行っている。	
			(外部評価) 自宅で使用していたダンスや装飾品等を自由に持ち込んで壁等に穴を開けて設置しても構わないことを利用者や家族に伝えており、居心地のよい居室を利用者と一緒に作り上げている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 入居者の動線に合わせ、車椅子の離合、手すりの設置を行っています。ここの失敗・混乱の軽減を行うようにしています。	